

<試験概要>

- ・試験場所 茨城県行方市
- ・品種 夏双子
- ・定植日 2016年7月17日 ・収穫日 2016年8月25日
- ・散布方法 500倍希釈の葉面散布にて、収穫日より約1ヶ月前から4回散布
- ・散布日 7月27日、8月3日、8月10日、8月17日
- ・散布コスト 1反1回当たり原液を200ml(120円)使用×4回散布 1反当たりのコスト480円

<サンプル採取方法>

- ・採取場所 ランダム
- ・測定箇所 葉・茎全部
- ・試験測定日 2016年8月25日

<試験結果>

重量測定結果 (単位：g) ※5株平均

採取場所	調整重量	根重量
対照区	129.2	4.0
甘彩試験区	155.3	4.2
	26.1g重い 20.2%増加	0.2g重い

葉長 (単位：cm) および葉枚数

採取場所	葉長	葉枚数
対照区	25.6	10.0
甘彩試験区	27.4	11.0
	1.8cm長い	1.0枚多い

葉色および各種土壌診断結果

採取場所	葉色	pH	EC	石灰	苦土	カリ	リン酸
	SPAD値	KCL抽出	mS		mg/100g		
対照区	40.9	6.79	0.864	1091	183	126	297
甘彩試験区	42.5	6.75	0.632	1081	180	122	327
増加量	1.6	-0.04	-0.23	-10	-3	-4	30

土壌内EC値測定結果 (単位：mS)

採取場所	* 弊社測定値				
	1	2	3	4	平均
対照区	0.50	0.40	0.50	0.50	0.48
甘彩試験区	0.30	0.30	0.40	0.20	0.30 36.8%減少

<まとめ>

- ・甘彩を散布し余剰肥料成分の吸収を高めた結果、アミノ酸形成の促進により葉・茎・根の生育が向上し、1株当たり26.1g (20.2%) の重量を増加させた。
- ・アミノ酸形成が促進された結果、葉色が濃くなった。
- ・余剰肥料成分が吸収された結果、土壌EC値、石灰、苦土、カリウムが減少した。

左が対照区。 右が甘彩試験区。

